

2. 平成 24 年度（2013 年度）トピックス

◆ブックスタート事業「えほんはじめまして」

「えほんはじめまして」は、絵本を通して赤ちゃん和父母者が楽しいひとときをすごしてもらえるよう、平成 15 年度に事業を開始し、23 年度からは、絵本のプレゼントを含むブックスタートパックを 4 か月児健診でお渡ししている。この事業は図書館、保健予防課、豊中子ども文庫連絡会との連携・協力で実施しており、24 年 4 月からは新たな市民ボランティアが加わった。スタッフ間の連携をより円滑にするため、ボランティアと図書館職員によるスタッフミーティング、保健師との懇談会などを定期的に行い、情報共有や研修の場としている。

図書館職員や市民ボランティアの言葉かけにより、赤ちゃん和絵本を開く楽しさを伝えている。回を重ねるごとに、図書館による子育て支援事業として認識されるようになってきた。絵本を手渡しすることで、すぐに家庭で絵本を楽しめるようになり、健診に来られた方にも好評である。配布したバッグを持参して図書館に来られる利用者も見かけるようになり、日常的な図書館利用につながっていることがうかがえる。

また、乳幼児向けおはなし会をはじめとするフォロー事業への参加も多く、赤ちゃん絵本の貸出の増加にもつながり、図書館の利用促進の一役を担っている。健診を受けられなかった人へのフォロー体制も、保健師の家庭訪問や絵本の引換券の配布等を通じて機能しつつあり、引換券を持って図書館へ来館するケースも増えている。さらに母語が外国語の方や障害のある方へ図書館サービスを案内する機会にもなっている。

24 年度は周知事業として「巡回写真展」を市内 4 ヶ所で開催し、図書館が地域で子育て支援をしていることを広く PR した。写真展最終日には千里文化センターコラボにて「子育て座談会『赤ちゃんといっしょに…絵本のある暮らし』」を開催した。日曜日の開催ということで、お父さんの参加も見られ、好評を得た。



ブックスタート会場の様子



子育て座談会

『赤ちゃんといっしょに…絵本のある暮らし』

◆とよなかブックプラネット事業 「子ども読書活動フォーラム」開催

児童生徒や保護者対象に、学校図書館の「学習情報センター機能」と「読書センター機能」を実感してもらい、学校における読書活動をさらに活性化させることを目的として「子ども読書活動フォーラム」を行った。

● 「好きな作家に手紙を書こう」

児童生徒 1,815 人が 16 人の作家に手紙を書き、14 人の作家からメッセージをいただいた。

● 知的探求合戦「めざせ！図書館の達人」(12月25日)

休館日の市立図書館で児童生徒が「iPS細胞」「ロンドンオリンピック」など好きなテーマで調べ学習を行い、そのプロセスを発表した。岡町図書館 12 チーム 44 人、千里図書館 8 チーム 34 人が参加した。



フォーラムでの代表チームによる発表の様子

● 子ども読書フォーラム (2月16日)



杉山亮さん



宗田理さん

ローズ文化ホールで、「めざせ！図書館の達人」代表の 5 チームによる発表、児童文学作家杉山亮さんの「ものがたりライブ」を行った。当日はサプライズゲストとして児童文学作家の宗田理さんが来られ、子どもたちに直接メッセージを伝えてくださり、子どもも大人も調べ学習や物語の楽しさを満喫した。ロビーに掲示した「好きな作家からのメッセージ」の前で記念撮影をする子どもの姿も見られた。児童生徒、保護者、学校関係者等 300 人が参加した。

◆学校図書館支援ライブラリー

平成 23 年 4 月から庄内幸町図書館のこども室を機能変更し「学校図書館支援ライブラリー」として運営している。学校図書館の「読書」「学習・情報」「教員支援」の三つのセンター機能をサポートすることを目的としている。

学校図書館支援ライブラリーでは、テーマ別パッケージ資料の提供から開始。趣味や季節の本をセットにして南部エリアの小中学校 4 校へ巡回貸出を行ったほか、学校図書館で蔵書の少ない分野については、補充用に学期間を通して貸出を行っている。

24 年度は、市内全校に対し教員向け資料の貸出を開始した。この資料は、教育センターの図書担当者や指導主事等の意見を参考に 23 年度に選書した 575 冊で、学校図書館を通じて市内の小中学校の教員に提供し、のべ 1,407 冊の貸出があった。

さらに、調べ学習サポートパックや図鑑セットの貸出も開始した。調べ学習サポートパックは、「昔のくらし」「琵琶湖の自然」など、多方面にわたる資料を様々な切り口で集め、授業に役立つ

つようパックにしたものである。図鑑セットは、動物や植物などの図鑑 40 冊をセットにしたもので、図鑑の使い方や課外学習の事前授業等で活用されている。

学校図書館と公共図書館の連携における中心的機能を担いながら、今後も「学校図書館支援ライブラリー」のあり方を検討していく。



調べ学習サポートパックの案内

◆レファレンス事例を探すー24 時間どこからでも調べられますー

「国産第一号のビールを造った桜井谷の渋谷庄三郎についてわかる資料はないか」など、調査事例（レファレンス）の一部を図書館の Web サイトで公開している。知りたい情報を 24 時間どこからでもキーワードで調べることができるよう、国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」（24 年度末参加館 583 館）のしくみを利用して、23 年度から行っている。

平成 24 年度には、豊中市立図書館から国立国会図書館のデータベースに挙げた事例数、またその事例について、全国から多くの照会があったことに対し、国会図書館から礼状がおくられた（登録件数 1,468 件、累計 1,484 件、被参照件数 74,066 件）。

※レファレンス協同データベース…国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築している調べ物のためのデータベース。レファレンス事例を蓄積し、インターネットを通じて提供することにより、図書館等におけるレファレンスサービス及び一般利用者の調査研究活動を支援することを目的とする事業。



国立国会図書館からの御礼状

◆「暮らしの課題解決」支援資料の充実

医療や子育て、ビジネスなどに関する地域・市民の課題解決を積極的に支援するため、平成 23 年度に総務省の「住民生活に光をそそぐ交付金」を活用し整備した蔵書を、24 年度にはさらに充実させ展示・提供した。この取組みは 3 年目を迎え、関係部局との連携も深まっている。

また、テーマごとに特集展示用セットと資料リストを作成し、全館を巡回させて、より多くの市民に情報提供を行う機会とした。

さらに、情報の探し方・調べ方を案内するツールとして調べ方ガイド「検索なび」を継続して作成・配布し、各課題の関連部署・施設と連携し、資料収集や講演会、出張展示を行った。他部局が作成した関連のチラシ、パンフレットなども積極的に入手し提供した。これらの多面的な情報提供は利用者からも好評で、今後も蔵書の充実や関連部署との連携事業を進めていく。

	資料の充実	取組み
調べ学習支援 (岡町図書館)	1,384 冊 23 年 1,192 冊 24 年 192 冊	「知的探求合戦 めざせ！図書館の達人」への協力 調べ学習サポートパック・図鑑セットの提供
子育て・DV情報支援 (野畑図書館)	1,551 冊 23 年 1,388 冊 24 年 163 冊	人権講演会として「子どもの心 親の心」開催 服部・蛍池で里親特集展示
ビジネス・就業支援 (千里図書館)	1,436 冊 23 年 1,347 冊 24 年 89 冊	とよなか産業フェア出展と貸出（地域経済課との連携）
多文化共生支援 (庄内図書館)	1,704 冊 23 年 1,511 冊 24 年 193 冊	とよなか国際交流センターへの 100 冊単位の団体貸出 (外国語資料)
医療健康情報支援 (岡町図書館)	1,446 冊 23 年 1,329 冊 24 年 117 冊	健康カレッジ出張資料展示・貸出(地域保健課との連携) 医療健康情報レクチャー「おうちでできる救急対応」・ 「介護に役立つ皮膚・排泄ケア」など(市立豊中病院との連携)

◆「人と本がつながる広場－活動グループの紹介－」

図書館を拠点にした読書に関わる様々な活動を多くの人に知っていただくため、子どもと本をつなぐボランティア団体や、音訳・点訳グループ、読書会活動を「人と本がつながる広場」として Web サイトで紹介した。

子どもと本をつなぐボランティア団体からは、「様々なグループの活動を知ること、自分の活動を広げる可能性を考えるきっかけとなった」という声が寄せられている。読書会グループからは、「一人で読む時とは違った出会いがあり、発見がある」「自分では選ばない本に出会える」など読書会の魅力が寄せられた。

市内のグループがお互いの存在や活動を知り、課題や目的に応じたゆるやかなつながりが生まれるよう、今後も情報提供に努めたい。

◆豊能地区三市二町広域連携

平成 23 年度の吹田市との広域利用に続き、24 年 6 月 1 日より、箕面市・池田市・能勢町・豊能町と「豊能地区 3 市 2 町による公立図書館広域利用（試行）」を開始した。

この 3 市 2 町に居住する市民は、それぞれ各市町の図書館で利用者カードを作り、利用が可能となった。豊中市・池田市・箕面市では 1 人 5 冊まで、能勢町・豊能町では 1 人 3 冊まで、2 週間借出すことができる。

24 年度 10 か月の実績は、豊中市立図書館からの貸出冊数 28,640 冊、登録者 825 人となっている。これは、箕面市立図書館（貸出冊数 44,499 冊、登録者数 1,141 人）に次いで、2 番目に利用されている。

また、豊中市民の借出冊数・登録者数は、箕面市立図書館で 32,841 冊・513 人、池田市立図書館で 535 冊・70 人、豊能町立図書館で 34 冊・9 人、能勢町立図書館では利用がなかった。

いずれの市町においても、毎月の新規登録者数は開始当初の半分から四分の一程度に落ち着いてきているが、貸出冊数は原状を維持している。定着した利用者が定期的に利用している様子が見えてくる。

24 年度から 3 年間の試行を行い、その結果をふまえて今後の方向性について検証していく。

◆図書館で緊急雇用創出基金事業を実施

平成 24 年 11 月より「図書館の新しい管理業務等を通じた就労困難者等就職促進事業」を実施した（25 年 3 月契約終了）。この事業は、市民協働部雇用労働課の地域就労支援センターや無料職業紹介所を通じた雇用・就労の取組みを踏まえ、大阪府の緊急雇用創出基金事業（重点分野雇用創造事業）に応募したものである。

本事業は、働く意欲がありながら自力では仕事に就くことが難しく何らかの支援が必要な就労困難な方々に、身近な図書館で接遇等研修の機会を設け、資料整理の業務を経験し、今後の就業につなげることを目的としている。

142 名の方が図書館での仕事を経験し、就業の喜びや達成感を得たという声が寄せられた。さらには就業意欲の向上にもつながり、他企業への就職を決定した人もいた。

本市における当該事業を含めた雇用・就労支援への取組みは、ドキュメント番組の取材を受け、25 年 5 月 NNN ドキュメント「生活保護 自立をめざして 釧路・豊中…先進自治体の挑戦」で紹介・放映された。



フォロー研修の様子

3. 地域・市民との協働

豊中市立図書館は、特に児童サービス、障害者サービス、多文化サービス等において、早い時期から市民とともに事業に取り組んできた。昭和 50 年代から豊中子ども文庫連絡会（以下豊子連という）と共に築き上げてきた子どもと本をつなぐ取組みは、現在の「子ども読書活動推進計画」へとつながっている。また「障害者サービス」では、市民グループによる点字図書・録音図書の作成や対面朗読などにより障害のある方の読書環境を整える役割を共に担ってきた。その後「しょうないREK」、「北摂アーカイブス」、「千里文化センター市民運営会議」が始まり、「地域教育協議会」との事業なども含め図書館自身が地域の一員として、地域・市民と協働で取り組ん

でいる。

平成24年度は、ブックスタート事業「えほんはじめまして」において、23年度から新たなボランティアスタッフが加わったことをきっかけに、スタッフミーティングを定期的を開催するようになった。企画立案から豊子連とともに実施し、目的や課題の共有が進んだことで、事業のよりよい実施に繋げることが可能になった。

取組みの過程や成果、課題を具体的に広く市民に情報提供し、合意形成を図りながら、両者の力を発揮して、単独では到達できない成果をあげることをめざしている。図書館からの呼びかけだけではなく市民からの提案も積極的に取り入れ、協働の原則（対等・相互理解・目的共有・情報公開・自主性尊重・自立化・相互補完・期限設定・共に変わる）を大切にしながら、企画の段階から協働を進め、新たな地域課題への取組みを進めていく。

＜市民との取組み事業一覧＞

館名	事業名	団体名	開催数
岡 町	子ども読書活動推進事業	豊中市子ども読書活動推進連絡協議会	11
	子どもと本をつなぐ地域交流会 中部	豊中市子ども読書活動推進連絡協議会	2
	ブックスタート事業「えほんはじめまして」（中部保健センター）	豊中子ども文庫連絡会他	18
	ブックスタート事業「えほんはじめまして」写真展	豊中子ども文庫連絡会他	1
	ブックスタート事業「えほんはじめまして」スタッフミーティング等	豊中子ども文庫連絡会他	3
	子どもと本のまつり	豊中子ども文庫連絡会、おはなしポケット、 （特活）国際交流の会とよなか TIFA	1
	子どもと本のつどい	豊中子ども文庫連絡会	3
	ボランティア講座（おはなしボランティアフォローアップ講座他）	おはなしポケット他	14
	おはなし会（おはなしとことこ、図書室おはなし会）	おはなしポケット	78
	とよなか地域子ども教室	SA とよなか	10
	おかまちおやこでにほんご	おやこでにほんご	27
	あおぞらおはなし会	おはなしポケット	1
	地域情報アーカイブ化事業－北摂アーカイブス	地域情報アーカイブ化事業実行委員会	21
庄 内	ブックスタート事業「えほんはじめまして」（庄内保健センター）	豊中子ども文庫連絡会他	12
	しょうないREK実行委員会	しょうないREK実行委員会	10
	リサイクル本販売コーナー ・ 陶器とりかえ隊	しょうないREK・赤ちゃんからのESD	42
	しょうないおやこでにほんご	しょうないREK（地球ママくらぶ）	37
	グリーティングカードを作ろう	しょうないREK	1
	庄内南公民分館文化祭（古本市、おはなし会）	しょうないREK、おはなしポケット他	1
	庄内祭り（古本市、おはなし会、おばけ屋敷、昔あそび工作、子育て情報コーナー）	しょうないREK他	1
	とよなか市民環境展（古本市）	しょうないREK他	1
	本のしおりづくり	しょうないREK	2
	ブックカバーづくり	しょうないREK他	3
	しょうない芝居小屋「ええやん！演芸会」	しょうないREK等	1
庄 内	アーカイブス展	地域情報アーカイブ化事業実行委員会	1

庄内幸町	おはなしポケット	おはなしポケット	11
千里	ブックスタート事業「えほんはじめまして」(千里保健センター)	豊中子ども文庫連絡会他	18
	ブックスタート事業「えほんはじめまして」写真展	豊中子ども文庫連絡会他	1
	ブックスタート事業「えほんはじめまして」 子育て座談会「赤ちゃんと一緒に絵本のある暮らし」	豊中子ども文庫連絡会他	1
	おはなしワールド	千里ストーリーリングの会	2
	ときどき！おはなし会	千里ストーリーリングの会	8
	コラボまつり(千里文化センターフェスティバル)	千里文化センター市民運営会議、豊中子ども文庫連絡会、千里青雲高校、TIFA、ふれあいネットワーク、豊中紙芝居の会、高校生・大学生ボランティア	1
	千里文化センター市民運営会議	千里文化センター、国際交流協会、市民	5
	千里コラボ大学校	千里文化センター市民実行委員会	11
	大人のための絵本カフェ	千里文化センター市民実行委員会	7
	ディスカバー千里	千里グッズの会他	4
	千里親子ふれあい広場	赤ちゃんからのESD	8
	せんりおやこでにほんご	おやこでにほんご	31
	馬頭琴を楽しもう！	国際交流の会とよなか	1
	ユニセフ写真展	大阪ユニセフ協会ボランティア	3
	ふゆのおたのしみ会	大学生	1
野畑	おはなし大会	野畑おはなしの会 ミックスJAM	1
	おはなしプレゼント	野畑おはなしの会	11
	とよなか地域子ども教室(てづくりあそび、たこあげ大会、のぼりたけ囲碁くらぶ ほか)	地域ボランティア 野畑えほんの会	23
	人形劇	人形劇団「ピピ」	1
東豊中	おはなしたんけんたい、おはなしたんけんたいクリスマス会	お話探検隊	44
	むかしあそび「つくってあそぼう」	ふれあいネットワーク	1
	大人のための朗読サロン	朗読グループ「草の実会」	2
服部	おはなしポケット(1才~3才・4才以上・小学生)	おはなしポケット	53
	モノづくり教室	おもちゃづくりグループ	1
	北摂アーカイブス展	地域情報アーカイブ化事業実行委員会	1
高川	おはなし会(おはなしくらぶ)	おはなしポケット	69
	紙芝居ボランティア(紙芝居会・練習会)	おはなしポケット	11
	とよなか地域子ども教室	SA とよなか	14
蛭池	おりがみ教室	市民	11
	人権・平和月間事業(であい・ふれあい大賞作品展、フェスティバル等)	子育てふれあいの会	3
	おはなしもこもこ	おはなしポケット	50
	電車がつなぐ人とまち		1

◆関係団体一覧

<p>子どもの読書支援</p> <p>子ども文庫 （*印は豊中子ども文庫連絡会加入文庫）</p> <p>*おひさま岡町文庫 *おひさま文庫 *くれよん文庫 *Kei おばさんの本の部屋文庫 月よう文庫 *サークル文庫 *そよ風文庫 *つみ木文庫 *仲よし文庫 *にじいろ文庫 プーさん文庫 *豊松園文庫 まめぶんこ</p> <p>おはなしボランティアポケット 豊中紙芝居の会 千里ストーリーテリングの会 野畑おはなしの会 おはなしたまてばこ おはなしたんけんたい かみしばいクラブともだちや</p>	<p>読書会</p> <p>つぐみ読書会 とよ読書会 豊中読書会 原田読書サークル ふうせんかずら フェアリーおばさんの会 木よう読書会</p>
<p>障害者・高齢者読書支援</p> <p>大阪声のグループ 豊中点訳会 グループ・エコー</p>	<p>朗読グループ</p> <p>草の実会</p>
<p>多文化読書支援</p> <p>おかまちおやこでにほんご しょうないおやこでにほんご せんりおやこでにほんご</p>	<p>その他</p> <p>豊中市立図書館利用者の会 豊中図書館の未来を考える会 しょうないREK 地域情報アーカイブ化事業 実行委員会</p>

平成 25 年（2013 年）4 月現在

◆しょうないREK

R:リサイクル E:イベント K: 瓦版 (情報)

正式事業名：リサイクル本の活用による図書館の活性化と地域における共生を推進するための事業

平成 16 年度協働事業市民提案制度で提案団体と豊中市との協働事業が成案化され、庄内図書館 3 階でリサイクル本販売コーナーが開設された。

24 年度には、本の販売日にボランティアによる「しおり」「グリーティングカード」「ブックカバー」などを作成する行事が行われ、23 年度より開催数も増えている。月 1 回のカフェと共に「買うところ」から「くつろげるところ」へと形を進化させながら、交流の輪を広げている。販売に関わるボランティアも増え、古本市への来場者も 23 年度より増加している。3 月のリサイクル本販売は「年に 1 度の在庫市」として広報誌に掲載したところ、通常の約 4 倍の購入者数となった。

本の販売売上金を活用して作成した「ごみの新分別啓発ビデオ」（環境センター制作）の 5 か国語 DVD が完成した。これは、しょうないREKの地域還元と多文化共生という 2 つの目的に適うものである。市役所、とよなか国際交流センター等で貸出、市のホームページでも配信されている。

11 月には、7 年間の記録、報告書として『しょうないREKのキセキ』を共に編集・発行した。

関係団体等への寄贈を行い、有料で頒布している。記事の作成、編集をとおして「しょうないREK」の構成メンバーが、この事業をふりかえることができた。今後も環境・共生・活性化を軸に継続していくために、参加団体と関係課がより連携していく必要がある。



『しょうないREKのキセキ』

◆千里コラボ

市民公募委員、学識経験者、各施設長で構成された市民運営会議に図書館も参加し、コラボ内の多機能施設の利点を活かしながら、事業のあり方や市民実行委員会の実施する事業の評価等を行っている。平成 24 年からは各施設における連携事業のあり方の検討も行い、市民協働や施設間連携のさらなる可能性を模索している。

24年度市民実行委員会主催事業として、地域住民を講師とした「千里コラボ大学校」では、「植生植物の楽しさ・おもしろさ」などのテーマで計11回の開催、延べ538人の参加者があり、講師や主催者との打ち合わせを重ねながら司書が関連資料の紹介や展示、図書館のPRを行った。また、「大人のための絵本カフェ」では、「絵本の中の色いろいろ」などのテーマで計9回の開催、延べ99人の参加。司書や参加者が絵本を紹介するなかで様々な意見交換をしながら互いに交流を深めた。「多文化カフェ」には毎回テーマとなる国の関連本やCDの団体貸出を行っている。

また、毎年10月には「コラボまつり」を開催し、市民実行委員会や公民館グループ等とともに全館をあげて取組んでいる。

22年度協働事業市民提案制度で成案化した「ディスカバー千里事業」では、提案団体である千里グッズの会と千里地域連携センター、千里ニュータウン再生推進課、情報政策室、コミュニティ政策室とともにまちびらきから50年を迎える千里ニュータウンの地域情報の「蓄積・編集・発信」システムの開発を行っている。



コラボまつり

◆北摂アーカイブス ～地域情報アーカイブ化事業～

この事業は、平成21年度文部科学省「図書館・博物館における地域の知の拠点推進事業」としてはじまり、22年から「地域情報アーカイブ化事業実行委員会」が、市の単独事業として継続している。

近隣の箕面市と連携することで、行政区域の枠を超え、住民の生活圏の情報・地域ニーズを反映した地域情報の収集・発信を行うための仕組みとなっている。住民の生涯学習を支えるための基盤整備及び地域コミュニティの活性化に資することをめざしている。

●平成24年度の事業について

24年度は、これまで集めた写真を整理・精査をおこなった。収集においては、本市では保存していなかった動く図書館の写真（動く図書館第2号竣工命名式）が、西宮市から発見されるなど、一定の成果があった。北摂アーカイブストップページも23年度より約3,000件アクセスが増えている。卒業論文等の題材として大学等から問い合わせもあり、地域資産を伝えるWebサイトとして徐々に浸透してきている。

24年度の「北摂アーカイブス写真展」は、箕面市に加え、市内南部地域を会場として開催した。豊中では会場周辺風景を中心に展示した。開催期間中大人から子どもまで多くの世代が写真を眺め、「地域の再発見につながった」「多くの写真をもっとみたい」との感想も寄せられた。



北摂アーカイブストップページ
アクセス数 69,641 件/年

動く図書館第二号車竣工命名式
昭和 36 年（1961 年）
西宮市立図書館より発見



新三国ボウルと国道 176 号線
昭和 55 年（1980 年）
提供：豊中市広報広聴課



● 今後に向けて

200 件を超える写真が掲載されるようになり、民間事業者からの二次利用の問い合わせが多くなっている。問い合わせに対して再度写真提供者に連絡することで、また新たな情報が寄せられ、資料収集につながる循環が起こっている。

Webサイトの写真や写真展用パネルを活用して、地域の方々が小学校を訪問し、地域の歴史を語る授業も行われている。一部の地域で、収集された資料を地域資産として活用し継承していく動きが生まれつつある。今後も現地での取材や撮影・編集・発信等の活動を通じて地域の魅力を伝え継承するため、その活動を支える地域フォトエディター募集を進めていく。

● 会議等開催状況

講演会

場所は岡町図書館

日時	内容
25 年 3 月 8 日（金） 18：30～20：30	万博よもやまばなし～当時の豊中の様子を交えて～ 講師：白井達郎氏（万博ミュージアム館長）

地域フォトエディター編集会議

場所は岡町図書館もしくは箕面市立中央図書館

	回数	活動日	内容
豊中	21 回	隔週土曜日午前等	写真整理、キャプション作成、掲載情報のチェック、文献調査、取材活動、写真展準備など
箕面	12 回	隔週木曜日午後	

写真展

日程	場所	名称・内容
4/20～6/1	箕面市立中央図書館	「北摂アーカイブス写真展」箕面のいまむかし
1/18～31	豊中市立庄内図書館	「北摂アーカイブス写真展」 豊中南部地域を中心に
3/5～26	豊中市立服部図書館	

4. 子ども読書活動推進計画

平成22年度より5ヶ年を計画期間とする「豊中市子ども読書活動推進計画第2期実施計画」を23年2月に策定し、子ども読書活動に関わる市民ボランティア、関連各部署担当者などに計画とその概略を周知するため概要版を作成・配布した。

これまでの取組みや評価を踏まえ、第2期実施計画をもとに「とよなかこども読書マップ」製作など関連事業の取組みと、推進計画の進捗状況の把握および事業評価を行った。それをうけて、就学前の地域との関わりが少ない居宅親子への情報提供、小学校高学年から中学生の読書離れ、高校生への読書支援活動などの課題について重点的に取り組んでいる。

「子どもと本をつなぐ地域交流会」は、11月、2月と2回に分けて実施した。1回目は第1期実施計画から関わってきた方をパネリストとし、各領域からの報告と情報共有の手段についてのアイデアを出し合い、2回目でそのアイデアを実践したグループの事例紹介が行われた。参加者それぞれの活動が計画と繋がっていることを確認し、交流を深める機会となった。

25年度は第2期実施計画の4年目となり、5ヶ年計画の総括のための準備を行っていく。



『豊中市子ども読書活動推進計画
第2期実施計画 概要版』
『とよなかこども読書マップ』